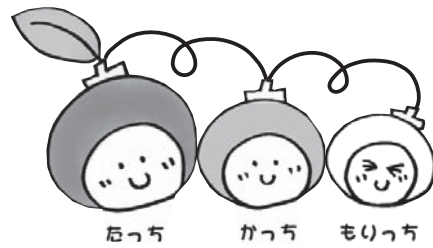


※社協だよりは町民の皆さんからの会費により発行されています。



福祉学習

福祉ってなに？障がいてなに？福祉学習への取り組み

高森町社会福祉協議会では、若い世代のための福祉学習に力を入れていますが、このたび高森中学校1年生（4クラス143人）の「総合的な学習の時間」に、下肢に障がいを持たれている高森町牛牧の熊谷公雄さんを外部講師としてお招きして、福祉学習を実施しました。



熊谷さんは幼少の頃より原因不明の症状で歩くことが困難となつてしまい、現在は車椅子を使用しておられます。普段は家具製造会社で経理事務を担当されていますが、ひとたび仕事を離れるとさまざまなスポーツ活動にも精力的に取り組んでおられ、これまでもテニス、スキー等を経験し、現在は車椅子バスケットボールクラブ「飯田パピッツ」に所属。選手として活躍される一方で、車椅子バスケットボールの普及、啓発にも取り組んでおられます。今回は中学生の福祉学習の一環ということで依頼させていただき、ふたつ返事で快諾してくださいました。

生徒の皆さんには事前に、「車椅子で生活されている熊谷さんの暮らしにくさ」について考えてきてもらいました。日常のどんなところに困っておられるか、一生懸命想像力を働かせて考えた事柄が次々と発表され、それについて熊谷さんがひとつひとつ丁寧に答えてくださいました。熊谷さんが最も困ることとして、「お店等に行った時に障がい者等用駐車スペースが空いていないことがあること」を挙げられ、生徒の皆さんが神妙な面持ちでうなずいていたのが印象的でした。その他にも、「ずっと座っているのでお尻が痛くなってしまう」「高いところは当然だけど、低いところのものを取るのも大変」等、実際に障がいと向き合っている方のお話をお聞きしないと気付けないことがたくさんあり、それぞれが自分たちの日常生活の中に具体的に置き換えてその不便さ、不自由さを考える機会を持つことが出来たことは、貴重な体験となったと思います。

高森町の将来を担う中学生の皆さんが真剣に福祉学習に取り組む姿勢は、なにものにも代え難い、町の大きな財産となっていくでしょう。

熊谷さん、高森中学校の皆さん、本当にありがとうございました。

生徒の皆さんの声

- ・「今日の熊谷さんの話をきっかけに自分には何ができるのかを考えていきたい。」
- ・「熊谷さんの荷物を『持ちますか?』とお聞きしたら笑顔で『お願いします。』と渡してくれた。こういうことも大切なんだと思った。」
- ・「例え不自由なところがあっても、生活は自分たちと同じなんだと驚いた。」
- ・「生活で不便に感じるのがわかったので、『何かお困りですか?』と声を掛けられるようにしたい。」
- ・「福祉の勉強が始まったばかりだけど、これからもしっかりと学んでいきたいと思った。」



介護者リフレッシュ事業



7月28日に介護者リフレッシュ事業として、ヒルトンホテル名古屋でのランチビュッフェと劇団四季の「オペラ座の怪人」の観劇を実施しました。

当日はご自宅で介護をされている30の方が参加してくださいました。初めての方、いつも参加して下さっている方などさまざまでしたが、自然とすぐに打ち解けて、楽しそうにお話をされていました。

バスの中で自己紹介を兼ねてそれぞれの介護の様子をお話いただきましたが、10年以上介護をされている方や「自分が倒れるわけにはいかない」と介護のため

に体力作りをされている方、嫁ぎ先から介護に通わなければならなくなり、この1年間は笑うことなく過ごしてきたという方もおられ、皆さんそれぞれ本当に大変な思いで介護をされているということがひしひしと伝わってきました。ただ、そんな生活の中にも温かい気持ちがあふれる瞬間があること、何気ないことに笑ったり楽しんだりしておられることも話してください、皆さんの前向きな姿にお手伝いをさせていただいている私たちが心を洗われて、明日からの活力をいただいたような気がしました。

介護者リフレッシュ事業は、日々の介護でご苦労されている介護者の皆さんに、ほんのひとときではありますが、美味しい食事を召し上がっていただいたり、ミュージカルの世界に浸っていただいたりすることで、「ああ、楽しかった。また明日から頑張ろう。」と気持ちを切り替えていただけるように、そして、同じように介護で苦労している方々との交流の機会を提供することで、一人で悩んだり苦しんだりすることなく介護に取り組んでいただけるように、と毎年企画をしています。参加して下さった方からは「このリフレッシュ事業に本当に救われた気がする。参加する前は自分だけが苦しんでいると思っていたが、皆さんの話を聞いて『もっと大変な方たちがいる。自分も頑張らないと。』と思えるようになった。」との声をいただきました。

来年もこのような嬉しいお声をいただけるよう、企画をしていきたいと思ひます。大勢の皆さんのご参加をお待ちしております。



デイサービスやすらぎ荘では8月2日から1週間にわたって、初の試みとなる夏祭りを開催しました。祭り囃子と手作り提灯でムード満点の会場に、利用者の皆さんも始まる前から興味津々。職員が楽しんでもらいたい一心で準備した数々の屋台も大盛況で、ヨーヨー釣りでは苦労して釣ったヨーヨーを「孫のお土産に」と喜んでくださったり、射的では「やったことないなあ。」と言いながらも、構えはスナイパーそのもので次々と的を射抜いたり、わたあめではどんどん大きくなる様子が驚いたり、それぞれに楽しんでいただきました。最後は好みの浴衣を選んでもらい、お面を付けての記念撮影。



職員も手探りではありましたが、利用者の皆さんのいつもとはまた違った笑顔を見ることが出来たことが何よりの収穫でした。

高森町社会福祉協議会

電話34-3717 FAX35-9589 Eメール t-shapc1@takamori.ne.jp
ホームページ <http://www.takamori-shakyo.com/>

お得な情報満載!

高森社協 検索

